

こどもの日 笑顔弾ける



バスケットボールの体験会で、元気いっぱいボールを手に笑顔を見せる子どもたち(館山国敏撮影)

ドリブル「楽しい」

きたえるプロチームが競技指導

こどもの日の5日、札幌市豊平区の道立総合体育センター「北海きたえる」が小学生以下に無料開放され、大勢の子どもたちが道内のプロスポーツチームによる競技体験会などに参加し、心地よい汗を流した。同センターが開館した2000年からの恒例行事で、過去2年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となったため、開催は3年ぶり。野球やフットサル、チアダンスなど10種類の教室や体験会が開かれた。

プロバスケットボールの

レバンガ北海道による体験会は、レバンガ北海道バスケットボールアカデミーのコーチ3人が指導役になり、小学生と未就学児をそれぞれ対象に行われた。未就学児対象の会には10人が参加し、子ども用の小さくて軽いボールを使ってドリブルを体験。試合では、元気いっばいにコートを駆け回って、得点を決めると歓声を上げていた。札幌市豊平区の門沢樹希君(5)は「初めて体験したけど、ドリブルができて楽しかった」と笑顔で話していた。

(山田一輝)